



## 第16回高分子分析討論会報告【2011】

2011年10月26,27日の2日間、高分子分析研究懇談会主催の高分子分析討論会が工学院大学で開催された。本年は、震災の影響が心配されたが、発表件数は82件、参加者数は330名と、例年並みの規模となり、本討論会への関心の高さが感じられた。

初日午前中は、小澤智行（日産化学工業）実行委員長の挨拶による開会の後、第1回の研究発表が行われた。本会の発表形式は、最初に口頭でそれぞれ3分以内のプレビュー講演を行った後、1時間半のポスター発表を行うものである。ポスター発表にコアタイムは設けていないが、1時間半もの時間があっても議論は尽きないほど、活発な討論が行われた。また、高分子分析における研究対象の広さから、発表内容も多岐に渡るものであった。

午後は、山形大学大学院川口正剛教授より「光散乱法を用いた分岐高分子のキャラクタリゼーション」の演題で特別講演が行われた。グラフト高分子の希薄溶液中での分子形態など、興味深い研究成果が紹介された。続いて、第2回の研究発表が行われた。

また、同夕には懇親会が開催され、日本分析化学会中村洋会長をはじめ、多くの方々にご参加いただいた。こちらも盛況で、初日の日程を終えた。

二日目午前には第3回、午後より第4回の研究発表が行われ、その後、科学技術振興機構／九州大学先導物質研究所陣内浩司特任教授より「高分子材料の三次元微細構造観察・解析」の演題で特別講演が行われた。断層撮影法を用いた三次元実像観察法に基づく、材料内部の階層的な構造の解析と物性発現の理解に関して解説がなされた。最後に、大関博（旭化成）高分子分析研究懇談会運営委員長より閉会の挨拶が行われその際、次回（第17回）高分子分析討論会は、名古屋市にて開催されるとのアナウンスがあった。

ポスター賞等は、歴代運営委員長・実行委員長の選考による「審査員賞」が3件、ポスター発表者の投票による「ポスター賞」が4件あり、懇親会および閉会時に、大関博運営委員長より授与された。受賞した演題と演者を以下に記す。

### 審査員賞

「ポリメタクリレート主鎖からなるロッドブラシの合成とキャラクタリゼーション」 齊藤悠太（山形大学大学院）

「時分割XAFS等を用いた硫黄架橋系水素化NBRの架橋状態解析」 光岡拓哉（豊田中央研究所）

「親フッ素－親油－親水バランス評価に基づいたフッ素系ポリマーのLC分析法開発」 中島陽司（旭硝子）

ポスター賞

「熱分解ガスクロマトグラフィーによる安定剤分析に基づくポリメタクリル酸メチルの劣化挙動解析」 竹上工起（名古屋工業大学大学院）

「水蒸気雰囲気下の熱分解ガスクロマトグラフィーの開発と高分子キャラクタリゼーションへの応用」 三田亮太（名古屋工業大学大学院）

「熱脱着GC/MSによるポリ塩化ビニル中フタル酸エステル類のマトリックス影響下での定量分析」 國井さゆり（フロンティア・ラボ）

「熱脱着GC/MSを用いたポリエチレンの酸化生成物の解析」 岡崎玲子（東ソー分析センター）

[福井県大学生物資源 片野 肇]

